

# 白馬村都市計画マスタープラン 第2回住民ワークショップ 報告書

## 1. ワークショップの目的

白馬村では、平成15年（2003年）3月に策定した白馬のまちづくりマスタープランに従い、まちづくりを進めてきたが、計画の策定を行ってから約20年が経過している。この間、村の人口は減少し続け、平成15年4月1日の9,541人から令和3年7月1日の8,498まで、約千人の人口減少となっており、今後も人口の減少が予測されている。

人口の減少が進む中でも持続可能なまちづくりを進めていくため、白馬村都市計画マスタープランの改定を行う。

この計画の改定に際し、住民意向を反映した実効性の高い計画の策定を目指す観点から、地域住民のまちづくり（都市計画）に対する要望や課題の把握を行うことを目的とし、ワークショップを開催する。

また、併せて地域住民の皆様には計画の概要を説明し、御理解頂くことも目的とする。

## 2. ワークショップの位置づけ

本ワークショップは、今後の計画策定の参考とするための住民意向や要望の把握を目的として実施するものである。ワークショップの結果は計画策定の基礎資料として活用するが、計画の内容を拘束するものとはしない。

## 3. ワークショップの概要

(1) 日時・開催場所 令和3年12月7日（火） 18:00 ~ 20:00（120分）  
白馬村役場隣 多目的研修集会施設ホール

(2) 参加人数 44名

(3) プログラム概要

①村の中心部を元気にする方法を考えよう

（具体的な方法や場所を地図にプロットしよう）

②生活しやすい村づくりに必要なものを考えよう

（必要なものを地図にプロットしよう）

③情報共有

#### 4. ワークショップの開催状況写真



写真1 課長挨拶



写真2 ワークショップの内容説明



写真3 グループ会議の様子



写真4 グループ会議の様子



写真5 グループ会議の様子



写真6 グループ会議の様子



写真7 グループ会議の様子



写真8 グループ会議の様子





写真 9 グループ会議の様子



写真 10 グループ会議の様子



写真 11 グループ会議の様子



写真 12 グループ会議の様子



写真 13 情報共有の状況



写真 14 情報共有の状況



写真 15 情報共有の状況



写真 16 情報共有の状況



# 村の中心部を元気にする方法を考えよう

## 全体

1. 村の中心部はどこ? (ひとつじゃないよ)  
(村の中心部、生活の中心部、観光の中心部 など)
2. 村の中心部を元気にする方法は?  
(具体的に考えてみよう。何が必要? どうすればよい?)

### 凡例

- ⋯ 村の中心
- ⋯ 生活の中心
- ⋯ 観光の中心
- ⋯ 農業の中心
- ⋯ 景観の中心
- ⋯ その他

村の中心部を元気にする方法
駅周辺での駐車場の整備
白馬駅の公共交通ターミナルとしての機能強化
子どもたちが遊ぶことのできる公園の整備
図書館やシェアスペースなどの整備
商店街の再生
駅周辺の無電柱化の推進
駅前再開発の実施
企業等の誘致
歩行空間の確保と自転車のゆわく上活用
国道148号の有効活用
神城地区への機能の分散
白馬駅舎の整備(木を使用した風情ある演出)
気軽に休憩することのできる場所の確保

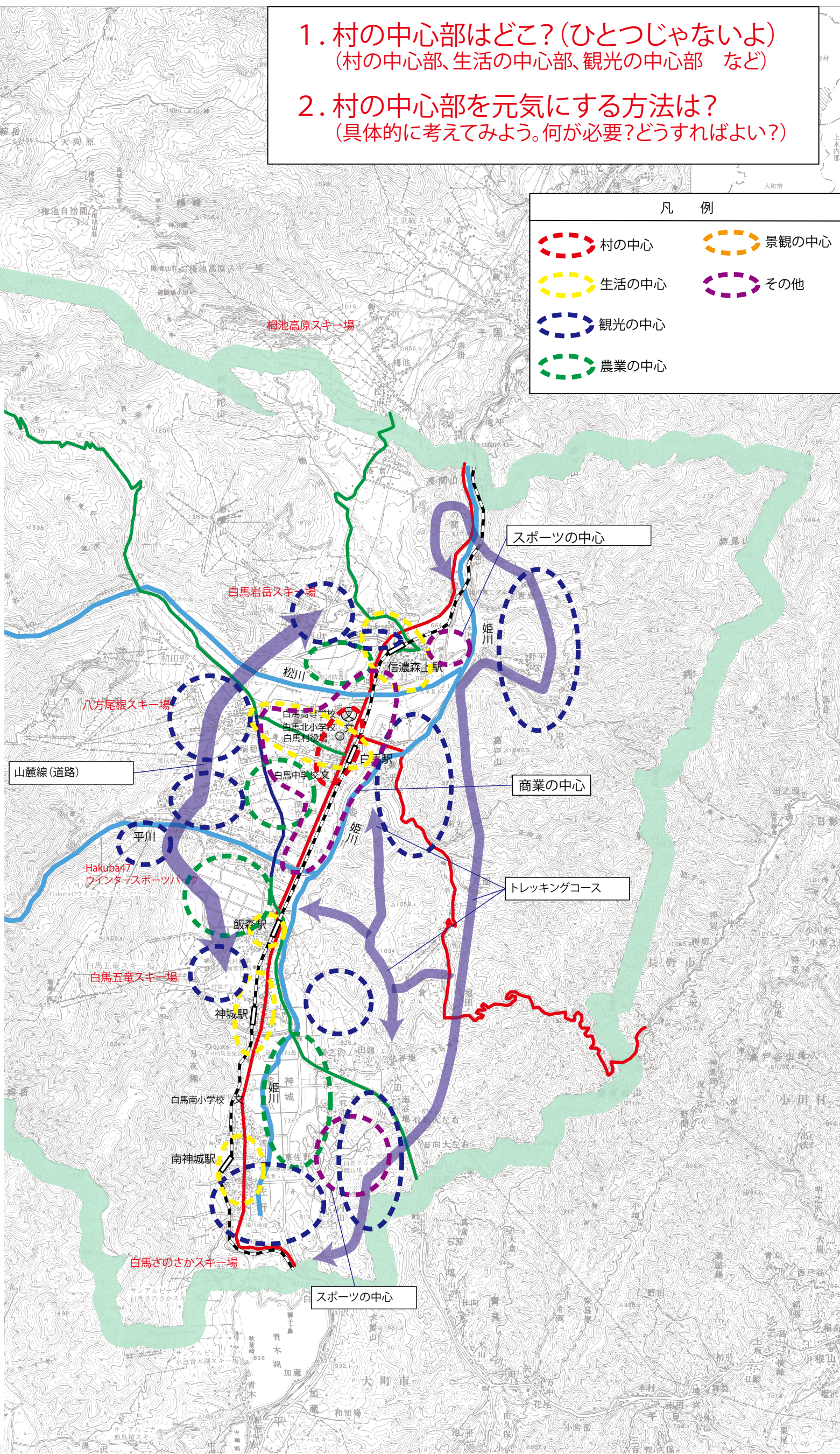
観光の中心部を元気にする方法
既存資源の活用も含めた観光メニューの充実
東山をグリーンシーズン観光として有効活用
グリーンシーズン観光の充実
特色あるスキー場メニューの創出
道の駅の充実と新たな道の駅の設置検討
観光に配慮した公共交通による観光客の利便の向上
村内各所でトレッキングコースの整備
グリーンシーズンを中心とした新たな観光メニューの創出
観光客向け店舗の充実
区域を限定した開発の促進
温泉を有効活用と食などの連携
観光地を連携させる道路等の整備
総合インフォメーションセンターの改善と効果的な情報発信
既存観光施設等の再整備(新田、みそら野、エコランド、八方)
レンタサイクル(電動バイク、電動自転車を含む)の有効活用
健康と観光の連携による新たなメニュー開発
景観を資源とできる整備と観光メニューの開発
観光関連施設の集積による新たな拠点整備
スポーツ合宿を受け入れるための整備
各観光協会の連携による観光の振興
北アルプスや隣接県への多様なアプローチ手法の検討
誰もが利用しやすい魅力ある店舗等の開発
観光客用シャトルバスの通年運行の検討
スノーハーブコースでの乗馬と村内巡りの活用

生活の中心部を元気にする方法
誰もが利用しやすい公共交通の整備
新技術(自動運転等)を活用した公共交通の整備
子どもたちが遊ぶことのできる公園の整備
災害に強い村づくり
歩行者の安全確保に向けた整備
大きな病院や出産できる場所の誘致
生活に必要な店舗、コンビニエンスストア等の維持、誘致
図書館の整備
飲食店の充実
生活の場を連携させるための道路等の整備
自立、循環(エネルギーを含む)のライフスタイルの構築
観光エリアと居住エリアの区分の明確化
住みやすい住宅地の確保
高齢者も楽しむことのできる場の確保

農業の中心部を元気にする方法
農業関連施設の整備、維持・管理
若者等、新たに農業に参画したい方への支援
集落営農、農業法人等への支援と新規設立への支援
農業体験を通じた農業への関心を高める取り組み
観光、スポーツなどとの連携による新たな農業の創出
農産物のブランディング等による付加価値の向上
農業と観光との連携による農業振興への取り組み
食との連携による儲かる農業の推進
農業と住宅との住み分け等、農業を営む環境の整備
農業機械の貸与等、農業にしやすい環境の整備
耕作放棄地の貸し出しなど、農地を守り活性化するための取り組み

景観
眺望を守るエリアの明確化と建物規制の推進
農業と白馬三山が醸し出す景観の観光等への有効活用
標識、看板等の色彩の統一等による良好な景観の創出
道路や農地の草刈り等景観保全への取り組みの推進
景色を眺める場の整備と周辺環境の整備

その他
自然エネルギーの活用の推進
EVカー等の積極的な活用
充電スタンドの設置
働く場としての産業の誘致
大系線の有効活用
倒木の防止や林業の推進、林業後継者の育成等の取り組み
林道整備による里山の活性化(建材、エネルギー)
東山の森林を活用した森林サービスへの取り組み
歩行者の安全確保のための歩道の除雪
道路整備、維持・管理への取り組み
スノーハーブコースでの乗馬と村内巡り
地域住民が利用しやすい飲食店、キッチンカー、屋台などの取り組み
郷土料理、地産地消を活かしたまちづくりの推進
村に意見を言いやすくてできる場の設置
河川整備の推進









# 村の中心部を元気にする方法を考えよう

## 全体

1. 村の中心部はどこ? (ひとつじゃないよ)  
(村の中心部、生活の中心部、観光の中心部 など)

2. 村の中心部を元気にする方法は?  
(具体的に考えてみよう。何が必要? どうすればよい?)

### 凡例

	村の中心		景観の中心
	生活の中心		その他
	観光の中心		
	農業の中心		

村の中心部を元気にする方法
駅周辺の駐車場の整備
白馬駅の公共交通ターミナルとしての機能強化
子どもたちが遊ぶことのできる公園の整備
図書館やシェアスペースなどの整備
商店街の再生
駅周辺の無電柱化の推進
駅前再開発の実施
企業等の誘致
歩行空間の確保と自転車のゆゆう活用
国道148号の有効活用
神城地区への機能の分散
白馬駅舎の整備(木を使用した風情ある演出)
気軽に休憩することのできる場所の確保

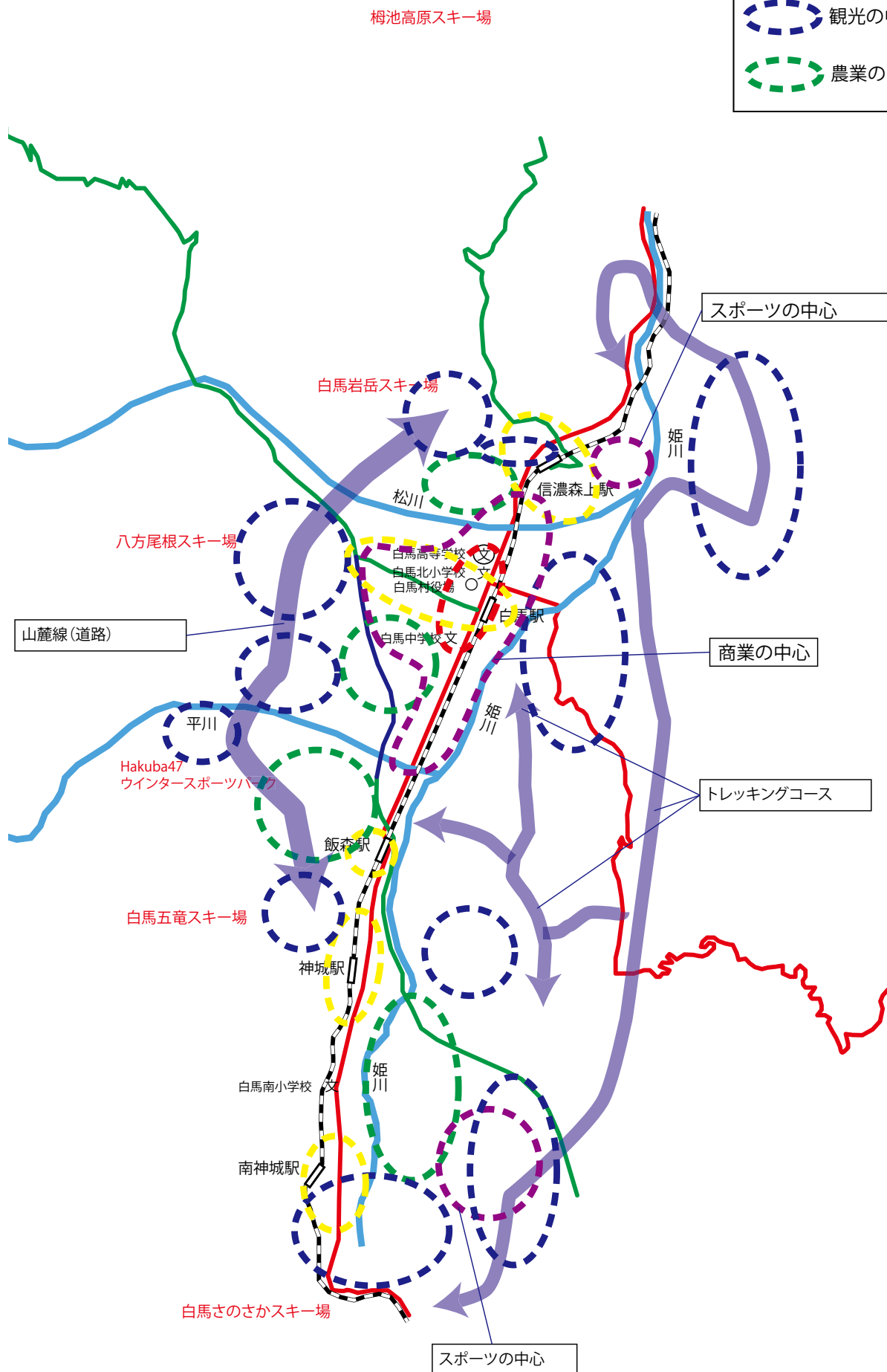
観光の中心部を元気にする方法
既存資源の活用も含めた観光メニューの充実
東山をグリーンシーズン観光として有効活用
グリーンシーズン観光の充実
特色あるスキー場メニューの創出
道の駅の充実と新たな道の駅の設置検討
観光に配慮した公共交通による観光客の利便の向上
村内各所でトレッキングコースの整備
グリーンシーズンを中心とした新たな観光メニューの創出
観光客向け店舗の充実
区域を限定した開発の促進
温泉を有効活用と食などの連携
観光地を連携させる道路等の整備
総合インフォメーションセンターの改善と効果的な情報発信
既存観光施設等の再整備(新田、みそら野、エコーランド、八方)
レンタサイクル(電動バイク、電動自転車を含む)の有効活用
健康と観光の連携による新たなメニュー開発
景観を資源とできる整備と観光メニューの開発
観光関連施設の集積による新たな拠点整備
スポーツ合宿を受け入れるための整備
各観光協会の連携による観光の振興
北アルプスや隣接県への多様なアプローチ手法の検討
誰もが利用しやすい魅力ある店舗等の開発
観光客用シャトルバスの通年運行の検討
スノーハーブコースでの乗馬と村内巡りの活用

生活の中心部を元気にする方法
誰もが利用しやすい公共交通の整備
新技術(自動運転等)を活用した公共交通の整備
子どもたちが遊ぶことのできる公園の整備
災害に強い村づくり
歩行者の安全確保に向けた整備
大きな病院や出産できる場所の誘致
生活に必要な店舗、コンビニエンスストア等の維持、誘致
図書館の整備
飲食店の充実
生活の場を連携させるための道路等の整備
自立、循環(エネルギーを含む)のライフスタイルの構築
観光エリアと居住エリアの区分の明確化
住みやすい住宅地の確保
高齢者も楽しむことのできる場の確保

農業の中心部を元気にする方法
農業関連施設の整備、維持・管理
若者等、新たに農業に参画したい方への支援
集落営農、農業法人等への支援と新規設立への支援
農業体験を通じた農業への関心を高める取り組み
観光、スポーツなどとの連携による新たな農業の創出
農産物のブランディング等による付加価値の向上
農業と観光との連携による農業振興への取り組み
食との連携による儲かる農業の推進
農業と住宅との住み分け等、農業を営む環境の整備
農業機械の貸与等、農業に取組みやすい環境の整備
耕作放棄地の貸し出しなど、農地を守り活性化する取り組み

景観
眺望を守るエリアの明確化と建物規制の推進
農業と白馬三山が醸し出す景観の観光等への有効活用
標識、看板等の色彩の統一等による良好な景観の創出
道路や農地の草刈り等景観保全への取り組みの推進
景色を眺める場の整備と周辺環境の整備

その他
自然エネルギーの活用推進
EVカー等の積極的な活用
充電スタンドの設置
働く場としての産業の誘致
大糸線の有効活用
倒木の防止や林業の推進、林業後継者の育成等の取り組み
林道整備による里山の活性化(建材、エネルギー)
東山の森林を活用した森林サービスへの取り組み
歩行者の安全確保のための歩道の除雪
道路整備、維持・管理への取り組み
スノーハーブコースでの乗馬と村内巡り
地域住民が利用しやすい飲食店、キッチンカー、屋台などの取り組み
郷土料理、地産地消を活かしたまちづくりの推進
村に意見を言いやすくてできる場の設置
河川整備の推進





# 生活しやすいまちづくりに必要なものを考えよう

## 全体

### 1. 生活に必要なものは何かな？

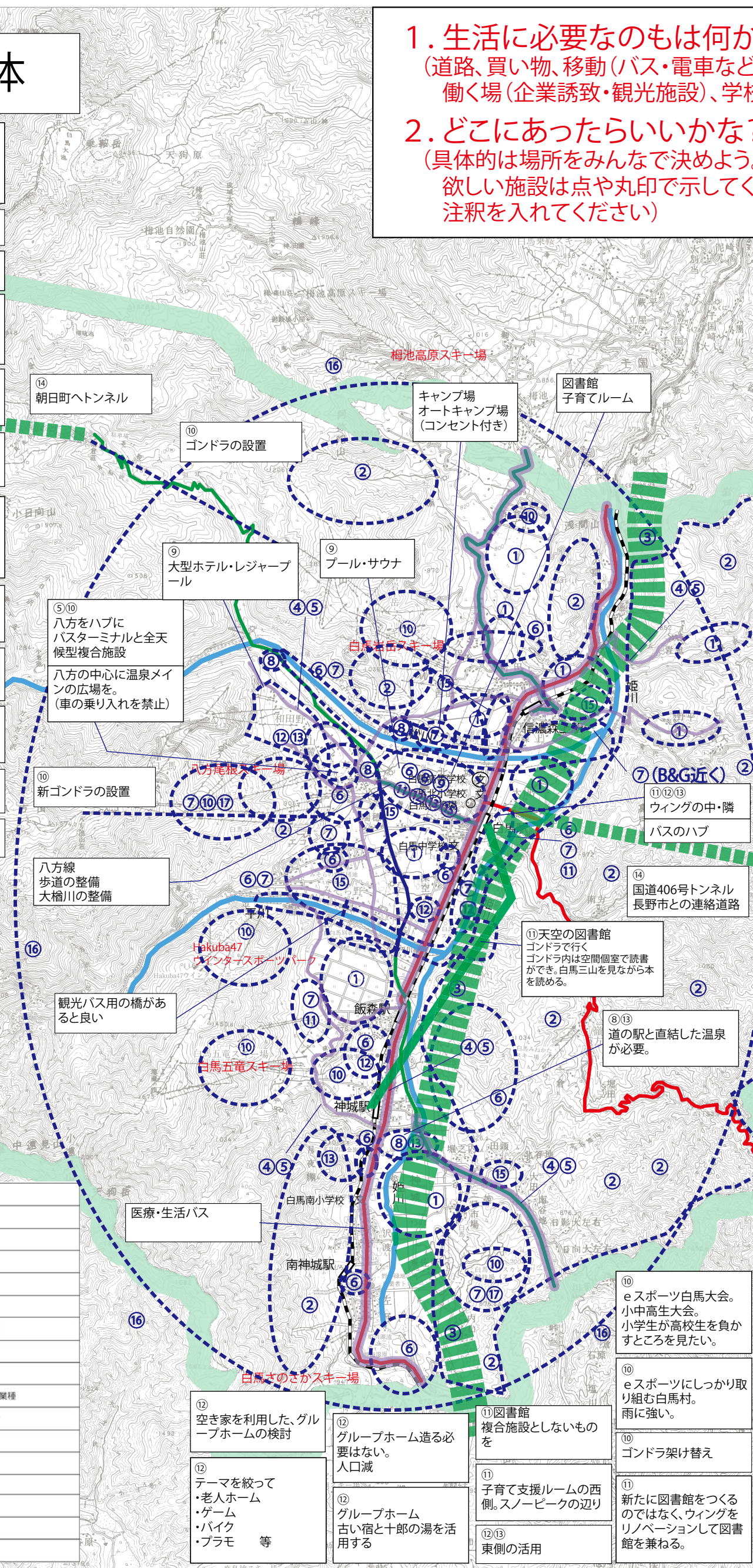
(道路、買い物、移動(バス・電車など)、公園、図書館、働く場(企業誘致・観光施設)、学校 など)

### 2. どこにあったらいいかな？

(具体的は場所をみんなで決めよう。道路やバス路線は線で、欲しい施設は点や丸印で示してください。何か分かるように注釈を入れてください)

- 車のない人の便利な村(見地)
- 山の見える場所に日本一大きい露天温泉。水着で入れる。(ジェンダーフリー)
- 集落の周辺(里山の整備) 里山の外側(森林の整備)
- 農業高校、もしくは、農業課をつくる
- 各地区に子どもが遊べる小さな公園
- ウッドチップロードを白馬に
- 人力発電
- 地産地消 農家はおいしさを突き詰めて作り、それを活かした食事も
- Eバス 小回りのきく
- 病院誘致 腕の良い先生
- 木質バイオマスで温水プール
- 道の駅は現在の場所がよい 駐車場が広く散歩コースもあるとよい

- ⑫ 岳の湯 + グリーンスポーツでゲートボール
- ⑬ 空気◎
- ⑬ 遠隔診療を充実させる
- ⑬ いらない 新谷・栗田・横沢、安曇があるのでOK
- ⑬ ウイングの近く
- ⑭ 朝日町ヘトンネル
- ⑩ ゴンドラの設置
- ⑨ 大型ホテル・レジャープール
- ⑨ プール・サウナ
- ⑤⑩ 八方をハブにバスターミナルと全天候型複合施設
- ⑧ 八方の中心に温泉メインの広場を。(車の乗り入れを禁止)
- ⑩ 新ゴンドラの設置
- ⑧ 八方線 歩道の整備 大橋川の整備
- ⑫ 空き家を利用した、グループホームの検討
- ⑫ テーマを絞って・老人ホーム・ゲーム・バイク・プラモ 等



- ⑥ プレーパークのんびり過ごせる公園(クロスカントリーコース周辺)
- ⑥ 子どもに遊具が無くてあそべる方法を教えてあげる
- ⑥ 3箇所ぐらいに遊具を付けては
- ⑦⑦ トレーニングキャンプが誘致できるような運動施設の集合体(スノーハブ、ウイングの充実)
- ⑦⑧⑩ 人力発電所 スポーツジムの様な施設で発電する 会費はいらぬ 逆に発電量に応じて白馬さんのおいしい食事がもらえる
- ⑦ 陸上競技場、スキー場の駐車場
- ⑦ サイクリングロード 河川敷を利用
- ⑧⑩⑫ 温泉療養を含めたグループホーム、大病院、スポーツリハビリ診療
- ⑧⑨⑩ 温泉を利用した温水プールやサウナ
- ⑧ 温泉の熱利用で塩・エビ・シイタケなどを作る
- ⑧ お菜を洗うところを作る
- ⑧ 温泉利用で村民が使える「おがま」を
- ⑨ 高速のWifi 若者が働く IT系企業人の誘致
- ⑨⑮ 空き家を壊して更地にする。 村営住宅を建てるため。
- ⑩ eスポーツ白馬大会。 小中高生大会。 小学生が高校生を負かすところを見たい。
- ⑩ eスポーツにしっかり取り組む白馬村。 雨に強い。
- ⑩ 図書館 複合施設としないものを
- ⑩ 子育て支援ルームの西側。スノーピークの辺り
- ⑫⑬ 東側の活用
- ⑨ 大型ホテルの誘致
- ⑨ ⑥=⑩ 大きい図書館は 学校の一般開放
- ① 現在の農地を維持。(減らさない) 山が見える環境は、農地のままキープ。
- ① 1箇所にしな
- ② 村全域・東山 森林浴・平地
- ② 里山観光の推進。 東山の整備(低山ウォーキング、MTB、トレイルラン etc
- ② スキー場内を登山できるコースの設定。(里山観光) (下りはゴンドラ、または、上りゴンドラで歩きで下山も
- ③ 松系道路 物流いる 観光いらぬ
- ③(仮) 姫川沿い トンネルの中通す インター2箇所十分
- ④ マイカー生活からの脱却 ・ローカル馬車 ・自転車走りやすい道 ・村内35km/h規制
- ④ コミュニティバス
- ⑤ 電車との接続 大系線
- ⑤ 電動自転車の活用 Eバイクの活用
- ⑤ 一筆書きでバス路線を
- ⑤ スキー場をつなぎ、現状分かりづらい 電車の時間とのリンクも悪い
- ⑤ 自転車ルートを明確に
- ⑤ EVカー・Eバイクの利用
- ⑥ 村全体が公園なので、あえて人工的な遊具のある公園を作る必要はない? ただし、自由に入れるエリアの管理整備は必要。
- ⑥ 遊具を活用 古道具 グリーンスポーツ
- ⑥=⑩ 大きい図書館は 学校の一般開放

番号	内容
①	農業を推進すべき位置、区域
②	森林、里山等の整備が必要な箇所と利用手段
③	高速道路や松本-糸魚川道路の位置
④	コミュニティバス、村内循環バスなどのルート
⑤	観光客の移動手段とルート
⑥	遊具のある公園、のんびり過ごせる公園を設置する場所
⑦	誰でも利用できる運動施設を設置する位置
⑧	温泉の有効活用を行える位置
⑨	人口増加に結び付く、若者の働く場を誘致したい場所・業種
⑩	通年・全天候型観光を目指す具体的な施設の内容と場所
⑪	図書館等複合施設を整備したい場所
⑫	高齢化に伴いグループホームを整備したい場所
⑬	大きな病院を誘致したい場所
⑭	国道、県道、村道等で道路改良が必要な場所
⑮	新たな住宅地開発を促進する場所
⑯	自然と触れ合うことの出来る場所



# 生活しやすいまちづくりに必要なものを考えよう

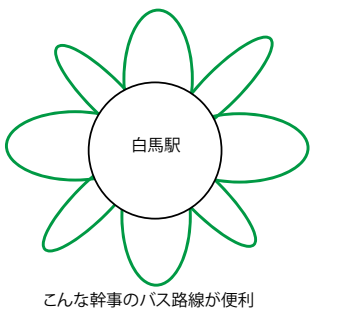
## 全体

図中、赤線、赤字は複数のグループから共通して出された位置、意見等

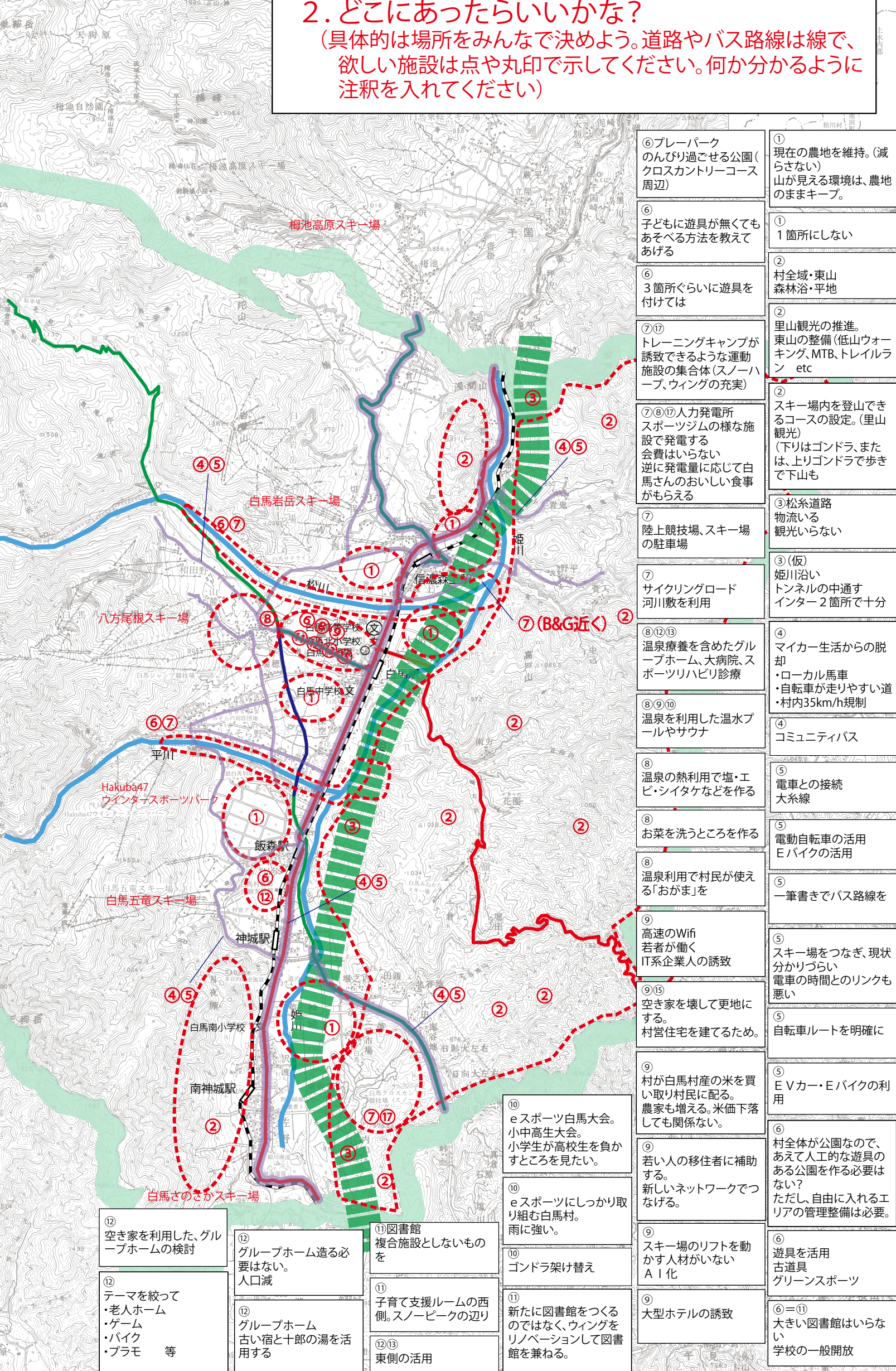
1. 生活に必要なものは何かな？  
(道路、買い物、移動(バス・電車など)、公園、図書館、働く場(企業誘致・観光施設)、学校 など)

2. どこにあったらいいかな？  
(具体的は場所をみんなで決めよう。道路やバス路線は線で、欲しい施設は点や丸印で示してください。何か分かるように注釈を入れてください)

- 車のない人の便利な村(見地)
- 駅の近くに村の方、観光客がともに使うことができる図書館
- 山の見える場所に日本一大きい露天温泉。水着で入れる。(ジェンダーフリー)
- 集落の周辺(里山の整備) 里山の外側(森林の整備)
- 農業高校、もしくは、農業課をつくる
- 各地区に子どもが遊べる小さな公園
- ウッドチップロードを白馬に
- 人力発電
- 地産地消 農家はおいしさを突き詰めてつくり、それを活かした食事所
- Eバス 小回りのきく
- 病院誘致 腕の良い先生
- 木質バイオマスで温水プール
- 道の駅は現在の場所がよい 駐車場が広く散歩コースもあるとよい
- ⑫ 岳の湯 + グリーンスポーツでゲートボール
- ⑬ 空気◎
- ⑬ 遠隔診療を充実させる
- ⑬ いらない 新谷・栗田・横沢、安曇があるのでOK
- ⑬ ウイングの近く
- ⑭ どこもかしこも、穴が多い
- ⑭ 塩の道 スクールゾーン化 特に冬場 北小・中学
- ⑭ 踏切を跨ぐアンダーパスを作る
- ⑮ 新たな住宅地
- ⑮ 新田の消防署の付近
- ⑯ 自然とふれあう
- ⑰ 空港・ロープウェイ



番号	内容
①	農業を推進すべき位置、区域
②	森林、里山等の整備が必要な箇所と利用手段
③	高速道路や松本-糸魚川道路の位置
④	コミュニティバス、村内循環バスなどのルート
⑤	観光客の移動手段とルート
⑥	遊具のある公園、のんびり過ごせる公園を設置する場所
⑦	誰でも利用できる運動施設を設置する位置
⑧	温泉の有効活用を行える位置
⑨	人口増加に結び付く、若者の働く場を誘致したい場所・業種
⑩	通年・全天候型観光を目指す具体的な施設の内容と場所
⑪	図書館等複合施設を整備したい場所
⑫	高齢化に伴いグループホームを整備したい場所
⑬	大きな病院を誘致したい場所
⑭	国道、県道、村道等で道路改良が必要な場所
⑮	新たな住宅地開発を促進する場所
⑯	自然と触れ合うことのできる場所



- ⑥ プレーパークのんびり過ごせる公園(クロスカントリーコース周辺)
- ⑥ 子どもに遊具が無くてもあそべる方法を教えてあげる
- ⑥ 3箇所ぐらいに遊具を付けては
- ⑦⑭ トレーニングキャンプが誘致できるような運動施設の集合体(スノーハープ、ウイングの充実)
- ⑦⑧⑯ 人力発電所 スポーツジムの様な施設で発電する 会費はいらぬ 逆に発電量に応じて白馬さんのおいしい食事がもらえる
- ⑦ 陸上競技場、スキー場の駐車場
- ⑦ サイクリングロード 河川敷を利用
- ⑧⑫⑬ 温泉療養を含めたグループホーム、大病院、スポーツリハビリ診療
- ⑧⑨⑩ 温泉を利用した温水プールやサウナ
- ⑧ 温泉の熱利用で塩・エビ・シイタケなどを作る
- ⑧ お菜を洗うところを作る
- ⑧ 温泉利用で村民が使える「おがま」を
- ⑨ 高速のWifi 若者が働く IT系企業人の誘致
- ⑨⑮ 空き家を壊して更地にする。 村営住宅を建てるため。
- ⑩ eスポーツ白馬大会。 小中高生大会。 小学生が高校生を負かすところを見たい。
- ⑩ eスポーツにしっかり取り組む白馬村。 雨に強い。
- ⑩ ゴンドラ架け替え
- ⑩ 新たに図書館をつくるのではなく、ウイングをリノベーションして図書館を兼ねる。
- ⑨ 大型ホテルの誘致
- ① 現在の農地を維持。(減らさない) 山が見える環境は、農地のままキープ。
- ① 1箇所にしらない
- ② 村全域・東山 森林浴・平地
- ② 里山観光の推進。 東山の整備(低山ウォーキング、MTB、トレイルラン etc
- ② スキー場内を登山できるコースの設定。(里山観光) (下りはゴンドラ、または、上りゴンドラで歩きで下山も)
- ③ 松系道路 物流いる 観光いらぬ
- ③(仮) 姫川沿い トンネルの中通す インター2箇所十分
- ④ マイカー生活からの脱却 ・ローカル馬車 ・自転車走りやすい道 ・村内35km/h規制
- ④ コミュニティバス
- ⑤ 電車との接続 大系線
- ⑤ 電動自転車の活用 Eバイクの活用
- ⑤ 一筆書きでバス路線を
- ⑤ スキー場をつなぎ、現状分かりづらい 電車の時間とのリンクも悪い
- ⑤ 自転車ルートを明確に
- ⑤ EVカー・Eバイクの利用
- ⑥ 村全体が公園なので、あえて人工的な遊具のある公園を作る必要はない? ただし、自由に入れるエリアの管理整備は必要。
- ⑥ 遊具を活用 古道具 グリーンスポーツ
- ⑥=⑪ 大きい図書館はいらぬ 学校の一般開放

⑫ 空き家を利用した、グループホームの検討

⑫ テーマを絞って ・老人ホーム ・ゲーム ・バイク ・プラモ 等

⑫ グループホーム造る必要はない。 人口減

⑫ グループホーム 古い宿と十郎の湯を活用する

⑪ 図書館 複合施設としないものを

⑪ 子育て支援ルームの西側。スノーピークの辺り

⑫⑬ 東側の活用

⑨ 村が白馬村産の米を買い取り村民に配る。 農家も増える。米価下落しても関係ない。

⑨ 若い人の移住者に補助する。 新しいネットワークでつなげる。

⑨ スキー場のリフトを動かす人材がいぬ AI化